

# 農泊で美林を守る加子母森林組合

研究員 佐藤彩生

国内の農山漁村に観光客を呼び込み、農山漁村の住民の所得向上を目指す、農林水産省主導の農泊推進対策事業は、3年目を迎えようとしている。本稿では、全国で唯一森林組合が中心となって農泊推進を行っている加子母森林組合の取組みを紹介する。

当時の村長が村有林の半分を旧加子母村の村民に分け与え、植林を奨励したため、現在も全世帯の8割が林家、つまり森林組合の組合員である。育てられた東濃ヒノキは主に住宅材に使用され、神社仏閣の修復用材にも利用されている。

## 1 加子母の概要

岐阜県中津川市加子母地区(旧加子母村)は、県の北東部に位置し、下呂市と長野県に隣接している。人口は2,838人(2019年1月現在)であり、山林面積が93%を占め、主産業の林業のほか、トマトや肉牛の生産が盛んである。

加子母の山林は江戸時代に尾張藩直轄地とされ、山守によって管理されてきた。1909年

## 2 ヒノキや歌舞伎を生かした大人向け農泊

森林組合は木材販売や森林整備のほか、キャンプ場の運営や施設での箸づくり体験の提供、木工製品の販売などを事業としている。長引く木材価格や取扱量の低迷を受けて森林組合の収入が圧迫されるなか、加子母の観光客増によるキャンプ利用料や体験料等の増収に活路を見いだし、2017年度の農泊事業に手

第1図 加子母みちくさマップ



資料 加子母森林組合より提供

を挙げた。単に組合の収入増を目的とするのではなく、1993年以降引き上げを止めてきた木材の販売手数料利率を今後も維持し、組合員の負担を増やさないことで美林を守るといったねらいがある。

森林組合ではこれまでに募集型の間伐体験ツアーなどを単発的に実施していたが、農泊を契機に、観光スポットである地歌舞伎の芝居小屋「明治座」や農業法人が提供する収穫体験、道の駅などを生かして、観光客が長く、また通年で滞在が楽しめるような面的な仕掛けづくりに取り組んでいる。例えば、馬籠宿<sup>まごめじゆく</sup>や下呂温泉など有名な観光地の立ち寄りスポットとしての認知度を上げるため、下呂市と中津川市の広域観光振興協議会の協力を得て、民間企業が運営する全国版体験予約サイト「asoview!」<sup>アソビュー</sup>に、ヒノキの箸づくり体験、歌舞伎メイク体験、ミニトマト収穫体験、加子母田舎サイクリングを登録している。また、地元の食事も楽しめるようにと、農山漁村振興交付金を活用して、飲食店も記した「加子母みちくさマップ」(第1図)を作成した。

ほかにも氷瀑や地層、トレッキングなど加子母の地域資源に着目した大人が楽しめるガイド付きツアーも企画中である。これらツアーに適正な料金を設定することで、従来ボランティアなどで参加していた住民スタッフに対して妥当な賃金を支払い、そのお金を道の駅など地域に落としてもらうことも期待している。またガイド料を得るだけでなく、樹齢千年の大ヒノキや伊勢神宮の御用材の伐採式跡のヒノキ見学(写真1)といった一般の人が立ち入れない山のガイドを行い、加子母の誇りであるヒノキと共にある独特な歴史・文化を地域外の人に知ってもらいたいという思いもある。

### 3 農泊を支えるむらづくり協議会

観光を切り口とした地域活性化は、農泊推



写真1 裏木曾御用材伐採式跡(加子母森林組合より提供)

進以前から「加子母むらづくり協議会」でも取り組まれてきた。同協議会は2005年の中津川市と旧加子母村を含む7町村との合併を機に、地域における課題解決のために加子母の住民が立ち上げた組織であり、地域づくりや防災安全、社会福祉などの10の分科会で構成されている。各分科会はさらに小さな団体に分けられ、住民は興味のある活動の団体に複数参加し、情報交換や行事の企画・開催等を行っている。

地域づくり分科会では11年にトマトの収穫体験や郷土料理の提供を始めていたが、観光による地域活性化をさらに進めるため、17年には農泊の参加メンバーであるNPO法人、農業法人、森林組合等で同分科会内に観光専門部会を立ち上げた。協議会を土台とした地域一体型の取組みは加子母の農泊の特徴であり、これがスムーズな合意形成と関係者の輪の構築を可能としているとみられる。

### 4 首都圏・インバウンドの観光客増の兆し

17年度の明治座の来館者数は2万人近くに上り、箸づくり体験者数も1千人を超えた。最近では市内にある苗木城が脚光を浴び、27年のリニア新幹線開通では中津川市に岐阜県駅が設置されることで首都圏からの観光客増も見込まれる。マレーシアからの教育旅行の受け入れや、日仏友好160周年イベントのパリでの地歌舞伎の披露も行っており、今後さらに外国人を含めた観光客が加子母へ訪れることが期待される。

(さとう さき)